

市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修(奥州会場)	資料7
平成28年10月17日	
長寿社会課 地域包括ケア推進担当	

市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修
かかりつけ薬局・訪問薬剤管理

岩手県薬剤師会

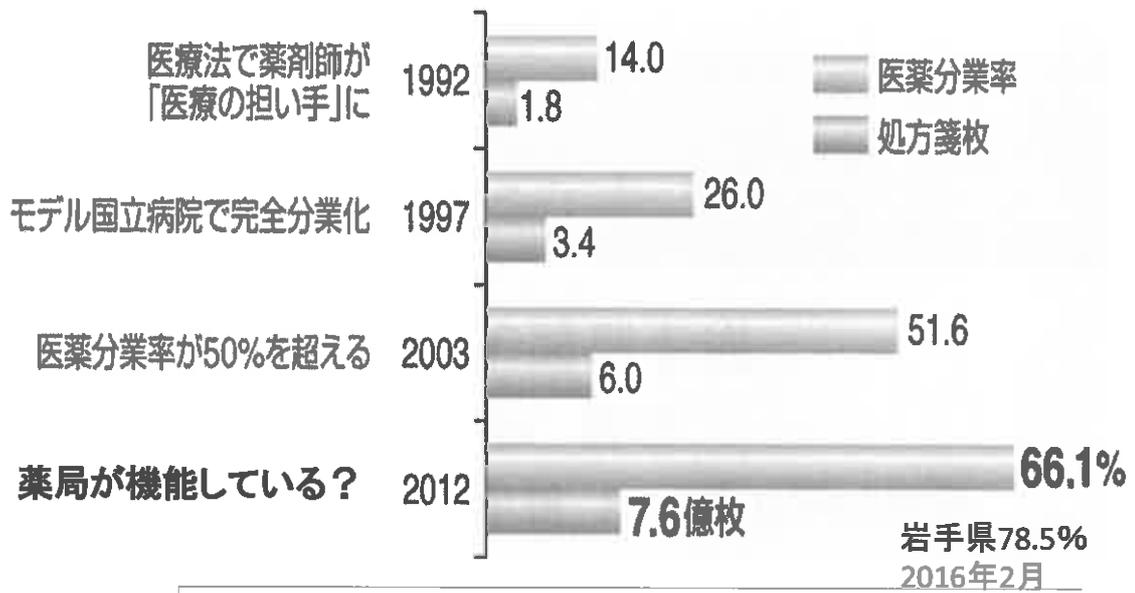
中目 祐幸

平成28年10月17日 健康増進プラザ'悠悠館

本日の内容

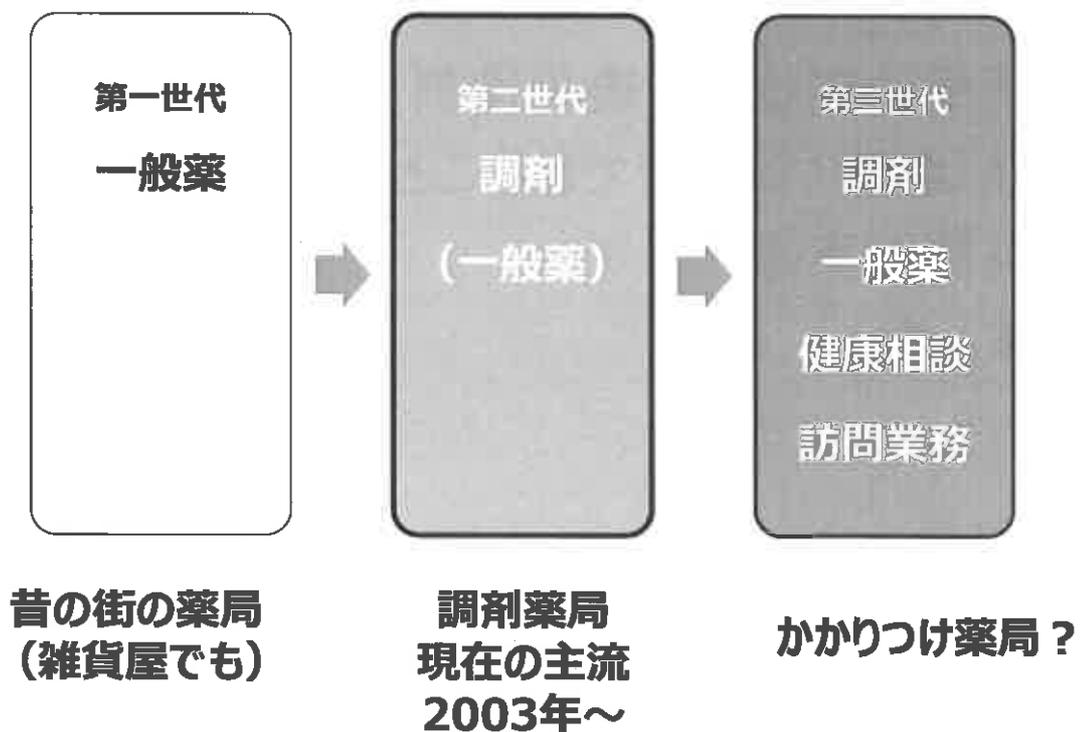
- ①薬局の現状と今後の役割
- ②訪問薬剤管理でできること
- ③訪問の実際
- ④まとめ

処方せん枚数と受け取り率の推移



日本薬剤師会ホームページより

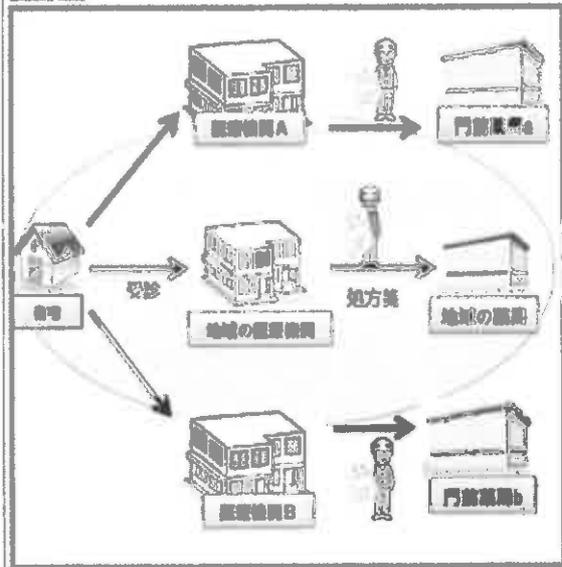
薬局業務の変化



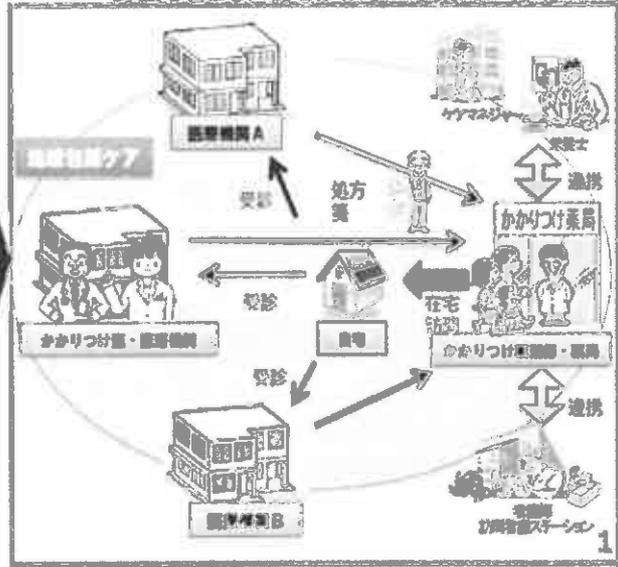
かかりつけ薬局とは・・・

今後の薬局の在り方(イメージ)

現状 多くの患者が門前薬局で薬を受け取っている。



今後 患者はどの医療機関を受診しても、身近なところにあるかかりつけ薬局に行く。



朝日新聞デジタル > 記事

社会 医療・健康・福祉(アビタル)

飲めずに「残薬」、山積み 高齢者宅、年475億円分

錦光山雅子 2015年4月8日 07時34分

[シェア](#)
[ツイート](#)
[ブックマーク](#)
[メール](#)
[印刷](#)

11836

983

179



高齢者宅から薬が大量に見つかる事例が目立っている。「残薬」と呼ばれ、多種類を処方された場合など適切に服用できず、症状の悪化でさらに薬が増える悪循環もある。年400億円を超えるとの推計もあり、薬剤師が薬を整理し、医師に処方薬を減らすよう求める試みが広がる。

ヘルパーの医療行為でないもの | 薬関連

軟膏の塗布（褥瘡の処置を除く）

点眼

皮膚への湿布の貼付

一包化された内用薬の内服（舌下錠含む）

坐薬の挿入

鼻腔粘膜への薬剤噴霧の介助

医師・歯科医師の処方及び薬剤師の服薬指導の上看護職員の保健指導・助言を遵守した
医薬品の使用を介助すること

平成17年7月26日付厚生省医政局長通知より

薬局の現状（胆江地区）

在宅業務アンケートから（28年6月実施）

アンケート回答薬局数 43店舗（全56店舗）

○在宅業務の実施（過去1年間）

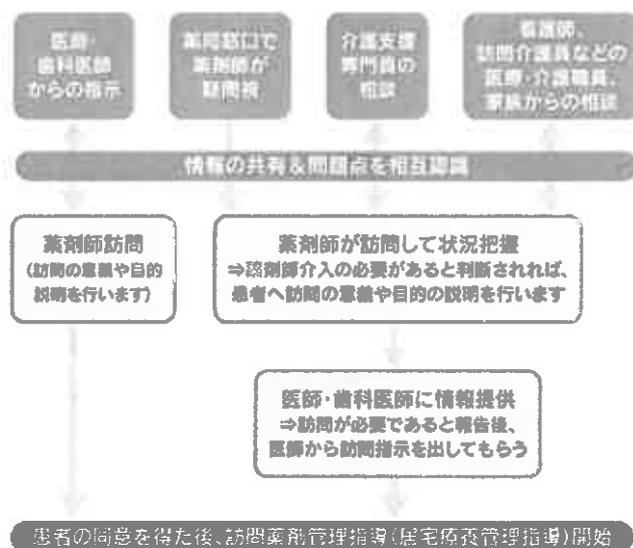
実績あり 10店舗（23.3%）←←【5店舗】

実績なし 33店舗（76.7%）

○訪問回数

308回←←【120回】 【 】内は昨年度

薬剤師による訪問服薬指導 | 4つのパターン



在宅ではこんなことが・・・。
薬剤師は

○残薬があるけど・・・。

- ①残薬を整理し、服薬状況を主治医に報告
- ②飲めない理由をアセスメントし対策を・・・
 - ・いつ飲めばいいか？ ➡一包化・カレンダー
 - ・1日2食でも薬は毎食後 ➡処方変更提案
 - ・複数の病院で投与日数が異なる
➡他科一包化
 - ・飲めない(嚥下機能) ➡粉碎、簡易懸濁

薬局を介した衛生材料の提供

